原沢製薬工業株式会社

皮膚赤外線体温計
耳赤外線体温計 **ファミドック**

取扱説明書【保証書付き】

認証番号：224AIBZX00072000

●このたびは、ファミドックをお買い上げいただきありがとうございます。
●安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
●本書はいつもお手元においてご使用ください。
●本書は保証書をかねていますので、紛失しないように保管しておいてください。

使用目的

本品は、皮膚の体温（おでこなど）を測定するために使用する。

お使いいただく前に

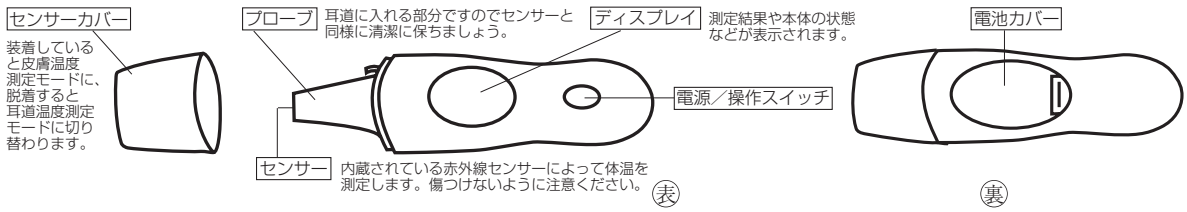
製品をご確認ください。

本体	
センサーカバー(青)	1個
スタンド(紺透明)	1個
添付文書	1枚
取扱説明書(保証書付き)	1枚

電池の絶縁シートをはずします。

1. 表示部の裏側にある電池カバーを開けます。
2. 電池と本体の間にある透明なフィルムを矢印の方向に引き抜きます。
3. 外れた電池をもう一度押し込みます。
4. 電池カバーを閉めてください。

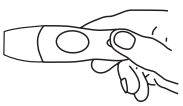
各部の説明



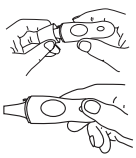
測定の準備をします

◆皮膚（おでこなど）で測定する場合

1. センサーカバーは付けたままで、センサーが汚れていないことを確認します。
2. スイッチを押します。
   この直後、ピピッと2回鳴って、前回測定した温度が表示されます。



◆耳で測定する場合



1. 青いセンサーカバーを外します。（軽くねじるようにすると外しやすいです。無理に外そうとすると、けがをしたり、壊れたりしますのでお気をつけください）
2. プローブとセンサーが汚れていないことを確認します。
3. スイッチを押します。
   この直後、ピピッと2回鳴って、前回測定した温度が表示されます。

測定します

◆皮膚（おでこなど）で測定する場合

3. 測定部位にあてます。

4. スイッチを押して測定します。
   スイッチを1度だけ押して離します。測定を開始します。
   （スイッチを押した指を離してから測定を開始します）

   測定中の最も適切な温度を記憶します。
   ピッと鳴って測定が終わります。最短1秒で測定できます。

   測定結果を表示します。
   ファミドックで測定した自分の平熱と比べます。

   おでこなどでの皮膚体温をより正確に測定する場合には、体温計をおでこなどに垂直に当て、スイッチを長押し（数秒）してから、スイッチを押した指だけ離して、ピッと鳴ったあとに温度を確認します。

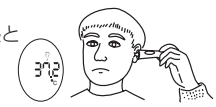
◆耳で測定する場合

4. プローブを耳孔に挿入します。
   本体をつまむようにして鼓膜方向にそっと入れます。

5. スイッチを押して測定します。
   プローブを耳孔に挿入し、正しく挿入できたことを確認して、スイッチを1度だけ押して離します。測定を開始します。
   （スイッチを押した指を離してから測定を開始します）

   測定中の最も適切な温度を記憶します。
   ピッと鳴って測定が終わります。最短1秒で測定できます。

   測定結果を表示します。
   ファミドックで測定しておいた自分の平熱と比べます。



約30秒後に、ピッと鳴って OFF と一瞬表示された後、表示が消えます。（スイッチを押しても電源は切れません）OFFの後の表示を無表示から室温／時刻表示に切り替えることもできます。但し、室温／時刻を表示させると電池の消耗が進みます。（この切り替えは、下記の「室温／時刻表示」の項を参照してください）

正しく測定するために

1. 本体を測定する部屋の温度に30分程度なじませてからご使用ください。（保管場所と温度差があると正しく測定できない場合があります）
2. スポーツ、食事、外出、入浴などの直後では正しい体温となりません。部屋の温度に30分位体を慣らしてからお測りください。
3. 使用するときは、プローブやセンサーが清潔であることを確認してください。
4. 使用する前に電池マークの表示で、電池の電圧が下がっていないことを確認してください。電圧が不足しているときは、新しい電池に交換してください。
5. 耳垢がたくさんありますと正確に測れないときがあります。綿棒などできれいにしてからお測りください。
6. プローブを耳孔に挿入するときは、外耳道にそって自然に挿入してください。
7. 小さなお子さまなど耳が小さいときは、耳を軽く後ろに引っ張りながら穴をプローブでぴったりとふさぐようにしてください。
8. 測定中、プローブを耳孔に強く押し付けたり、無理に押し込んだり、動かしたりしないようにしてください。
9. 測定する部位によって体温は若干異なります。一定の条件のもとで何回か検温し、本品での平熱を確認しておいてください。

続けて測定したいとき

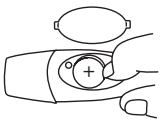
「測定します」に戻ってください。
連続測定をする場合、最低１分の間隔を空けてください。
本体が体温で温まると正しく測定できない場合があります。

電池交換

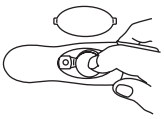
（リチウム電池１個（CR2032）をご用意ください）

1.裏返して電池カバーのつまみを上げます。

2.電池を固定している金属を横に開くと、電池が外れますので取り出してください。
（電池の飛び出しにご注意ください）



3.新しい電池の＋を上にして上から軽く押すと、カチリとはまります。
（きちんと水平にセットされているかご確認ください）



4.電池カバーを元通りにはめ、閉じます。

電池が少なくなってきた印です。速やかに電池交換してください。

お手入れと保管

●お手入れ方法

〈本体〉

本体の汚れは柔らかい乾燥した布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ること。

水洗いや研磨剤入りのクリーナー、シンナー、ベンジン、ポビドンヨードのご使用は絶対に避けてください。

〈センサー〉

センサーが汚れたときは、ぬらして絞ったティッシュやカット綿、綿棒、アルコール綿などで軽くぬぐって汚れを落としてから乾かしてください。（プローブ先端は防水です）

センサー部分を指などで触れたりすると錆びてしまうので触らないようにしてください。

●保管方法

1.水のかからない場所に保管してください。
2.高い温度、高い湿度、直射日光、埃の多い場所などでは機器に悪影響が出ます。そうした恐れのない場所に保管してください。
3.強い振動、落下などの衝撃（運搬時を含む）などで故障します。ご注意ください。
4.長期保管する場合は電池を外しておくことをお勧めします。
収納ケースの指定の場所に入れて保管するか、付属のスタンドにのせて、時計／温度計として使うこともできます。
5.決して分解しないでください。正しく測定できなくなります。故障かなと思ったら下記にご連絡ください。

表示の説明

表　示	説　　明	表　示	説　　明
Err	環境温度が測定可能範囲外である。		時計モード
Lo	測定温度が32℃より低い		前回測定温度表示
Hi	測定温度が42.9℃より高い		電池切れ表示
	測定中		38℃以上の時に表示されます。 同時にピー、ピッピと３回警告音が鳴ります。
	皮膚温度測定モード		
	耳道温度測定モード		電撃保護の程度B形（本体裏面記載）
	分別して廃棄すること（本体裏面記載）	CE 0413	EU指令などに基づく医療機器の安全性を裏付ける表示（本体裏面記載）

表示の意味（おかしいなと思ったら）

表　示	意　味	動　作
	スイッチを押したときに、約一秒間表示されます。	約一秒後に、前回検温した温度が表示されます。
	温度は前回の検温温度を示します。 検温可能画面です。	この表示を確認すれば、検温できます。
	電池が少なくなってきた印です。	速やかに電池交換してください。

表　示	意　味	動　作
Lo	電池残量不足のため測定できません。	電池交換しないと検温できません。
Hi	検温温度が、42.9℃を越えています。	「正しく測定するために」の項をお読みになり再度検温してください。
Lo	検温温度が32℃未満です。	「正しく測定するために」の項をお読みになり再度検温してください。
Err	環境温度（室温など）が、高すぎるか低すぎることを示します。	室温が測定範囲を超えています。 検温場所を変更してください。
14:25　25.0℃	時計、室温表示モードに設定されているときに、時間と室温を交互に表示します。	初めて電池を入れたとき、または、電池入れ換え時に設定します。

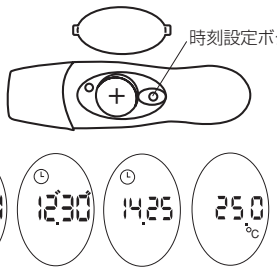
皮膚・耳赤外線体温計について

ファミドックは、赤外線を感知することのできるセンサーで温度を測定します。
わきの下や舌下などによる体温の測定値は、外気温や汗、唾液などの影響を受けやすいため、体の深部温度より低く測定されます。
体温を表すと考えられる脳の温度をよく反映する耳での検温は、発熱時の体温をすばやく知ることができます。

室温／時刻表示

【時刻の設定】

1. 電池交換と同じように、電池カバーを外します。
2. 電池の横にある黒くて丸い小さな時刻設定ボタンを細くて固いもので押して下さい。
3. 「時間」を表す数字が点滅したら、スイッチを押すことにより、時刻を進めることができます。
   1回押すと1時間進みます。
4. 「時間」が合ったら、もう一度、時刻設定ボタンを押して下さい。
5. 次に「分」のところが点滅しますので、「時間」のときと同様に操作して下さい。
6. 「時間」と「分」の両方を合わせたら、時刻設定ボタンをもう一度押します。
   これで時刻設定完了です。
7. 時刻と室温が10秒毎交互に表示されますので、スタンドに立てておくと、時間や室温が見やすくなります。
8. 長持ちさせるには、電池を外して保管してください。
9. 室温／時刻を表示させると電池の消耗が早く進みます。



【無表示にする方法】

電池の消耗をおさえたり、しばらく使用しない場合などで無表示にしたい場合
電池を外して入れなおし、上記の【時刻の設定】をしなければ、約30秒後に無表示のOFF状態になります。再度体温測定したいときは、スイッチを押せば使用できます。

皮膚赤外線体温計 耳赤外線体温計 ファミドック

お使いになる前によくお読みください。

安全上のご注意

■ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みになり、安全のために必ずお守りください。
■表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“破裂注意”を示します。

⃠記号は禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“一般的な禁止”を示します。

●記号は強制（必ず守ること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“一般的な強制”を示します。

⚠警告

測定結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導にしたがってください。
●自己診断は、病気が悪化する恐れがあります。

子供や高齢の方でご様子に気がかりな点がある場合は、測った体温に関わらず、必ず医師にご相談ください。
●自己診断は、病気が悪化する恐れがあります。

必ずプローブを清潔にして測定してください。
●赤外線センサーが汚れていては正しい測定結果がでない恐れがあります。

他の人が使用した後はプローブをよく消毒してから使用してください。
●病気が感染する恐れがあります。

センサーを手でさわったり、息を吹きかけたりしないでください。
●赤外線センサーが破損したり、汚れて正しい測定結果がでなくなる恐れがあります。

センサーが汚れたときは、汚れを拭きとってください。
●ぬらして絞ったティッシュやカット綿、綿棒、アルコール綿などで軽く拭きとってください。汚れて正しい測定結果がでなくなる恐れがあります。

子供だけで使わせないでください。
●耳を傷つけるなどけがをする恐れがあります。

乳幼児の手の届かないところに保管してください。
●万一、電池や部品を飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

帰宅後すぐなど耳が冷えている場合は、耳が温まってから測定してください。
●水枕や氷嚢などを当てていたときや冬など帰宅後すぐに測ると低い値になることがあります。

保管場所と測定場所の温度差があるときは、本体を室温（測定場所）に30分ほどなじませてから測定してください。
●正しい測定結果がでない恐れがあります。

⚠注意

引火性のある環境では使用しないでください。
●引火又は爆発の原因となる可能性があります。

電池を火の中に投げ込まないでください。
●電池が破裂する恐れがあります。

無理にプローブを耳に挿入しないでください。また、使用中に痛みなどの異常を感じたときは、使用を中止してください。
●耳の穴を傷つける恐れがあります。

外耳炎、中耳炎など耳に疾病のある方は、使用しないでください。
●疾患部分を悪化させる恐れがあります。

お願い

- 医師に体温を知らせるときは、測定した部位とその部位の通常の温度を伝えてください。
- 本体に強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないで下さい。
- 本機の近くで、携帯電話を使用しないで下さい。
- 分解や修理、改造をしないで下さい。
- 本体は防水ではありません。液体（アルコール、水滴、熱湯など）が本体内部に入らないように取り扱いに注意して下さい。

仕様

電　　源：リチウム電池CR2032(DC 3 V)× 1 個
消 費 電 力：0.05W
感　温　部：サーモパイル
体 温 表 示：デジタル表示 3 桁+℃表示、表示単位：0.1℃
温度測定精度：35.5℃以上　41.0℃以下：±0.2℃
　　35.5℃未満：±0.3℃
　　41.1℃以上：±0.3℃
温度測定範囲：(測定部位：額を含む皮膚／耳道)
　　皮膚測定時：20～42.9℃（32℃以下は“Lo”と表示します）
　　耳道測定時：32～42.9℃
重　　量：約45 g（電池を含む）
外 形 寸 法：幅32.5×高さ114.0×厚さ23.5㎜
周 囲 環 境：
　作 動 温 度：16～40℃
　作 動 湿 度：95%未満
　保 管 温 度：－20～50℃
　保 管 湿 度：95%未満
電 撃 保 護：内部電源機器Ｂ形
主な付加価値：38℃以上で警報表示とブザー、オート測定オフ機能、
　　検温終了ブザー、温室／時刻表示
警 報 機 能：電池切れマーク表示、表示温度外表示、使用温度外表示

お問い合わせ窓口

? 修理・製品に関するお問い合わせ
原沢製薬工業株式会社 お客様相談室
電　　話：03－3441－5191
応対時間： 9 :30～17:00（土、日、祝日を除く）
http : //www.harasawa.co.jp/

製造販売業者：原沢製薬工業株式会社
住　　所：〒108-0074　東京都港区高輪三丁目19番17号

＊保 証 書＊	
品　名	ファミドック
保証期間	お買い上げ日より１年間
	お買い上げ日　　年　　月　　日
お客様	お名前
	ご住所　〒
	TEL　（　　）
販売店	お名前
	ご住所　〒
	TEL　（　　）

●保証規定

1　保証期間は、「お買い上げの日から１年間」です。
2　ご使用中、万一故障が発生した場合は、現品に保証書を添えて、お買い上げの販売店または原沢製薬工業(株)お客様相談室へ修理をご依頼ください。
3　下記の場合は保証期間中でも有料になります。
　(イ)ご使用上で取り扱いの過誤（落としたり、強いショックを与えるなど）により発生した故障。
　(ロ)製品の改造あるいは不当な修理により発生した故障。
　(ハ)火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力および異常電圧による故障および損傷。
　(ニ)故障の原因が本製品以外に起因する場合。
　(ホ)消耗品。
　(ヘ)保証書のご提示がない場合。
　(ト)保証書各項目の記入・捺印もれ（お買い上げ時のレシート添付の場合は有効）、あるいは字句が訂正されている場合。
4　保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

●保証について

保証書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等につきまして、おわかりにならない場合は、お買い上げの販売店または原沢製薬工業(株)お客様相談室までお問い合わせください。
製造者以外によって行われた分解・修理・改造及び調整などについては、製造業者はその責任を負いません。